

平成30年度（2018年度）												
連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
37	足立	1号炉	休炉	H30.10.13	22:23	H30.10.14	9:30					No.2自工場主灰コンベヤトリップ停止、コンベヤ従動軸側スプロケットよりチェーン外れを確認。コンベヤに異物の噛み込みがあり復旧が見込めなかったため、焼却炉を立下げた。
36	板橋	1号炉	休炉	H30.10.6	5:56	H30.10.6	8:04	H30.10.8	15:29	H30.10.9	10:45	1号焼却炉灰押出し装置油圧ホースより油漏れが発生した。運転継続困難なため、1号焼却炉を立ち下げた。
35	多摩川	2号炉	休炉	H30.10.1	17:30	H30.10.1	22:00	H30.10.3	23:01	H30.10.4	15:27	後燃焼ストーカ(2)上に主灰が徐々に堆積しているのを発見し、後燃焼ストーカ(2)が動作していないことを確認した。焼却炉の運転継続が困難であり調査のため、焼却炉を立ち下げた。
34	豊島	2号炉	休炉	H30.9.30	1:18	H30.9.30	1:18					2号炉二次押込ファン過電流により、二次押込ファン用リアクトル起動盤の配線用遮断器(MCCB)が動作し、焼却炉が非常停止した。
33	板橋	1号炉	休炉	H30.9.8	6:31	H30.9.10	12:54	H30.9.18	15:30	H30.9.19	12:28	1号焼却炉アンモニア気化装置から流量計の手弁フランジよりアンモニアが漏洩した。運転継続困難なため、1号焼却炉を立ち下げた。
32	有明	TG	停止	H30.9.8	2:08	H30.9.8	13:34			H30.9.11	16:24	TG発電無効電力測定値上限が発報。発電力率が50%まで低下状態が続いたため、13時34分蒸気タービンを停止した。
31	北	1号炉	休炉	H30.8.16	19:00	H30.8.31	13:29	H30.9.6	15:30	H30.9.7	10:35	No.2灰コンベア水中軸軸受にて異音が発生しており、グリス注入にて経過観察していたが、補修の必要があるため立ち下げた。
30	杉並	2号炉	休炉	H30.8.26	14:04	H30.8.26	15:39	H30.8.29	15:11	H30.8.30	14:18	2号No.2灰コンベヤの過負荷が発生し、コンベヤチェーンが破断した。そのため、焼却炉を立下げる。
29	豊島	2号炉	休炉	H30.8.26	8:07	H30.8.26	9:33	H30.8.27	14:44	H30.8.27	21:01	2号炉二次押込ファン入口ダンバが、DCS監視画面上の『開』表示に関係なく、全閉のまま自動動作をしなくなった。二次空気の調整が出来なくなり、安定燃焼の継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
28	足立	2号炉	休炉	H30.8.20	2:31	H30.8.20	6:28	H30.8.29	15:30	H30.8.30	9:15	No.3燃焼ストーカ下シュート先のコンベヤ内部で未燃物が確認されたので、調査のため焼却炉を立ち下げた。
27	千歳	TG	停止	H30.8.7	1:03					H30.8.13	20:52	タービン発電機の、「蒸気タービン発電機軸受台異常振動」の警報が発報し、タービン発電機が停止した。
26	灰溶融・多摩川		休炉	H30.8.3	15:00	H30.8.4	10:00	H30.8.21	7:00	H30.8.22	9:10	灰溶融炉の排ガス中のばいじん濃度が上昇した。灰溶融炉用集じん器の調査のため、灰溶融炉を立ち下げ
25	港	ごみクレー	停止	H30.8.1	1:00					H30.8.4	12:00	ごみクレーン乱巻き警報が発報したため、現場確認をしたところ、ワイヤロープのストランドが切れていた。ワイヤロープ交換のため停止した。
24	世田谷	1号炉	休炉	H30.7.22	0:30	H30.7.27	10:04	H30.8.8	20:45	H30.8.9	9:59	燃焼溶融炉パッフルの差圧が、スラグ及びクリンカ付着により上昇傾向となり、運転継続が困難となったため焼却炉を立ち下げた。
23	千歳	1号炉	休炉	H30.7.25	17:48	H30.7.25	19:35	H30.8.3	19:53	H30.8.4	17:07	No.2ボイラダストコンベヤが過トルクにより停止した。現場にて正逆転を試みたが、動作不能であったため運転継続は困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
22	北	1号炉	休炉	H30.7.21	11:46	H30.7.21	15:15	H30.8.9	20:30	H30.8.10	11:37	焼却炉立上げ行程中に炉内圧力が安定しなかった。誘引ファン回転数制御装置にて不具合のおそれがあり、調査するため立ち下げた。
21	世田谷	ごみクレー	停止	H30.7.16	11:48					H30.7.21	16:00	2号ごみクレーンのバケット開閉給電ケーブルが移動中に破断した。格納位置まで移動させ、使用を停止した。
20	中央	2号炉	休炉	H30.7.6	12:30	H30.7.6	22:00	H30.7.16	15:00	H30.7.17	14:34	ボイラ蒸気流量およびボイラ給水流量に偏差が発生した。その調査のため焼却炉を立ち下げた。

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
19	有明	2号炉	休炉	H30.6.30	17:41	H30.6.30	18:10	H30.7.17	14:15	H30.7.18	13:40	過熱器出口蒸気流量およびボイラ給水流量に偏差が発生した。その調査のため焼却炉を立ち下げた。
18	港	2号炉	休炉	H30.6.30	15:00	H30.6.30	16:40	H30.7.1	15:48	H30.7.2	8:30	2号炉煙突入口4成分排ガス分析計が故障したため、調査・補修のため焼却炉を立ち下げた。
17	足立	1号炉	休炉	H30.6.29	15:00	H30.6.29	17:40	H30.7.16	11:49	H30.7.17	3:16	蒸気式ガス再加熱器からの蒸気漏れが疑われるため、調査のため焼却炉を立ち下げた。
16	北	1号炉	休炉	H30.6.25	11:00	H30.6.25	20:00	H30.7.20	20:32	H30.7.21	11:18	No.1反応蒸発塔下部にて灰の排出が見られなかった。下部ホッパにて閉塞のおそれが
15	足立	2号炉	休炉	H30.6.24	18:23	H30.6.24	19:40	H30.7.2	11:36	H30.7.3	6:12	乾燥ストーカ下シュート先のコンベヤ内部で未燃物が確認されたので、調査のため焼却炉を立ち下げた。
14	品川	ごみクレーン	停止	H30.6.10	17:03					H30.6.15	15:00	No.2ごみクレーンを巻き上げる際にインバータトリップが頻発し、運転が出来ない状態になった為、クレーン使用を停止した。
13	新江東	ごみクレーン	停止	H30.6.7	12:35					H30.7.28	17:30	「No.1ごみクレーン横走行電源盤 漏電」警報が発報した。確認したところ、No.1ごみクレーン横行用の給電ケーブルが断線していたため、ごみクレーンを停止した。
12	葛飾	1号炉	休炉	H30.6.2	10:43	H30.6.2	10:43	H30.6.2	11:30	H30.6.2	14:22	計装用空気脱湿装置補修作業時に、稼働中の脱湿装置が停止した。そのため、計装用空気圧力下下限が発報し、1号焼却炉が非常停止した。
11	練馬	2号炉	休炉	H30.5.25	5:06	H30.5.25	9:15	H30.5.28	15:17	H30.5.29	11:47	2号炉No3灰コンベヤのコンベヤチェーンが破断しているのを確認。チェーンの補修のため焼却炉を立ち下げた。
10	杉並	1号炉	休炉	H30.5.20	2:02	H30.5.20	3:02	H30.5.25	15:08	H30.5.26	12:49	1号No.2灰コンベヤの過負荷が発生し、コンベヤチェーンが破断した。そのため、焼却炉を立ち下げる。
9	世田谷	2号炉	休炉	H30.5.19	17:15	H30.5.19	22:00	H30.5.28	19:57	H30.5.29	8:45	砂分級装置ルーバー下シュート部に不適物がつまり砂の排出が困難となり、運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた
8	練馬	1号炉	休炉	H30.5.7	10:00	H30.5.18	15:30	H30.5.23	15:15	H30.5.24	11:48	1号炉ボイラ下ホッパより灰の漏洩を確認。漏洩箇所の補修のため焼却炉を立ち下げた。
7	港	ごみクレーン	停止	H30.5.18	11:30					H30.5.21	10:00	2号ごみクレーンのケーブルリール温度上昇の警報が発報したため、現場確認をしたところ、冷却ファンが停止していた。調査のため2号ごみクレーンの運用を停止する。
6	江戸川	ごみクレーン	停止	H30.5.11	4:30					H30.5.15	16:00	TV監視時、1号ごみクレーンのキャブタイヤケーブルのたるみを発見した。現場確認したところ、ケーブル巻き上げ用の中間軸ユニットの部品が破損しており、巻き上げができない状態であった。クレーンを1番ゲート側に寄せて使用を停止した。
5	大田	ごみクレーン	停止	H30.5.10	7:08					H30.5.17	16:00	No. 1ごみクレーンの開閉装置異常(インバータ)出力過電流の警報が発報し、バケットの開閉ができなくなった。原因調査のため、ごみクレーンを停止した。
4	練馬	1号炉	休炉	H30.4.28	11:45	H30.4.28	16:30	H30.5.2	14:15	H30.5.3	10:47	1号炉乾燥段ストーカ下シュートよりストーカ循環水の漏洩を確認。漏洩箇所の特定及び補修のため焼却炉を立ち下げた。
3	足立	1号炉	休炉	H30.4.24	13:00	H30.4.27	22:08	H30.5.24	15:59	H30.5.25	11:52	蒸気式ガス再加熱器からの蒸気漏れが疑われるため、調査のため焼却炉を立ち下げた。なお、このまま中間点検に入る。
2	杉並	1、2号炉	休炉	H30.4.23	8:21	H30.4.23	8:23	H30.5.11	15:10	H30.5.12	13:29	計装用空気圧力下下限により1,2号焼却炉及び蒸気タービンが緊急停止した。
1	豊島	ごみクレーン	停止	H30.4.20	14:00					H30.4.26	16:15	2号ごみクレーンの月例点検中に巻上ドラム軸受の損傷を確認したため、クレーンの使用を停止した。